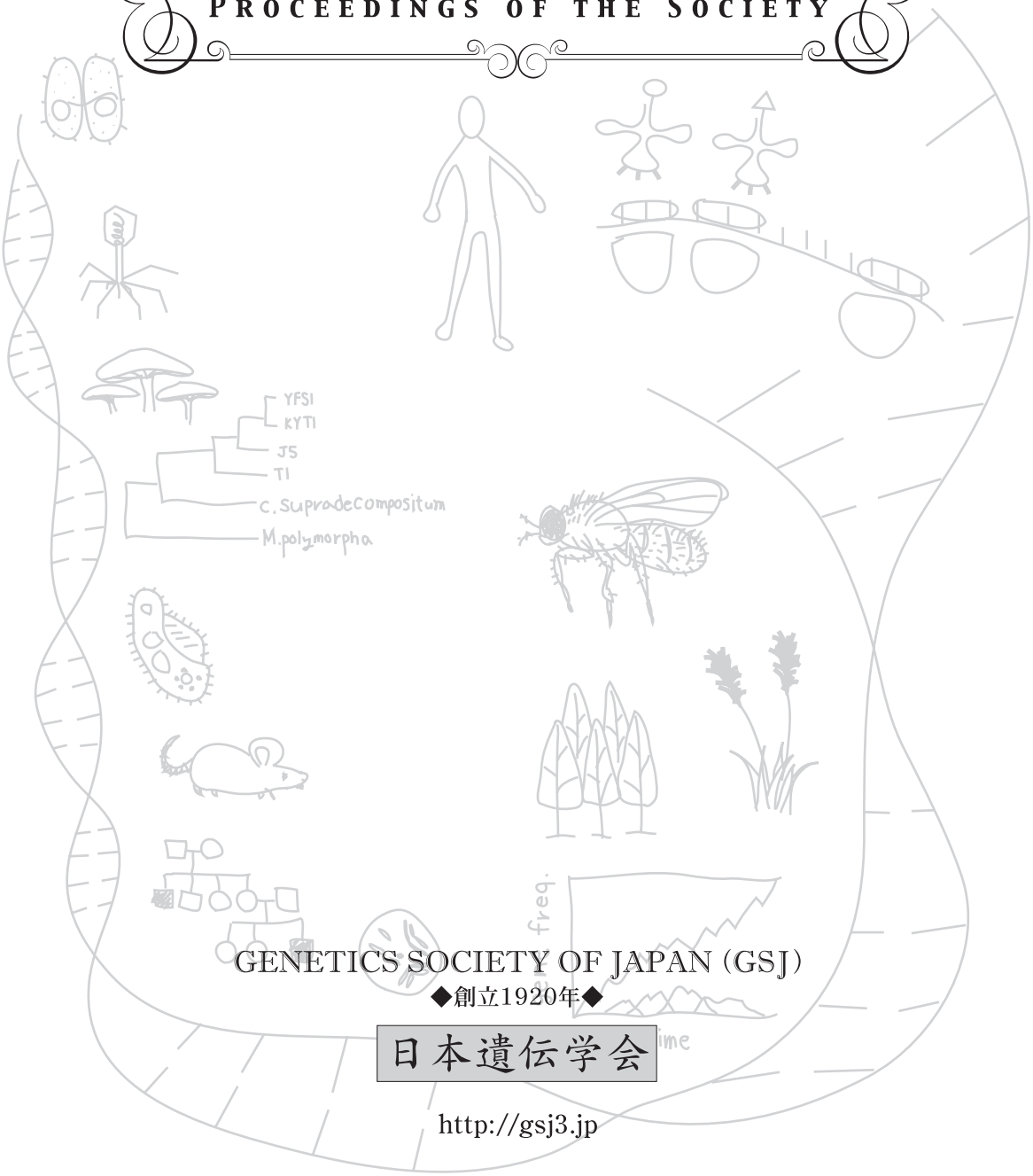
SUPPLEMENT TO GENES GENET.SYST. (2016) 91 (6) December 2016

# GSJ コミュニケーションズ

PROCEEDINGS OF THE SOCIETY




GENETICS SOCIETY OF JAPAN (GSJ)

◆創立1920年◆

日本遺伝学会

http://gsj3.jp

GSJ
コミュニケーションズ
91−6
日本遺伝学会交流誌　GGS 付録
2017年 4 月28日発行

目　　次　　頁

2017年度日本遺伝学会年会費ご納入のお願い …… 3
お知らせ …… 4
日本遺伝学会第89回大会へのお誘い …… 5
大会ニュース（その２）…… 6
日本遺伝学会木原賞および奨励賞候補者推薦のお願い …… 7
2017年度日本遺伝学会木原賞候補者推薦書 …… 8
2017年度日本遺伝学会奨励賞候補者推薦書 ……10
2017年度日本遺伝学会第１回幹事会・評議員会議事録 ……12
第１回 Genes & Genetic Systems（GGS）のホームページ（HP）
改定検討ワーキング（WG）議事概要 ……14

本会記事
会員異動 ……15

# 2017年度日本遺伝学会年会費ご納入のお願い

平素より皆様には日本遺伝学会の発展に対し，いろいろとご支援を賜り，厚くお礼申しあげます．

さて，2017年度日本遺伝学会年会費を，下記郵便振替口座までご納入下さいますよう，よろしくお願いいたします．本年度よりシニア会員，準会員のカテゴリーが新たに加わりました．65歳以上の普通会員はシニア会員に会員カテゴリーを変更することができます．変更を希望される会員の中で65歳になられて以降，昨年度までに普通会員として年会費を納入された会員につきましては，シニア会員の永年会費を減額あるいは免除いたしますので，事務局までご連絡ください．年会費のご納入がクレジットカードにてできるようにしておりますが，本年度に限り，学生以外の普通会員およびシニア会員のみにさせていただきます．ご利用方法の詳細につきましては学会 **HP** の各種手続きをご参照くださいますようお願いいたします．

1．普通会員　　2017年度年会費　10,000円

（注）定年退職して常勤職でなくなったことを申し出た場合は6,000円になります．65歳以上の普通会員はシニア会員への変更を検討してください．

2．普通会員（学生）　2017年度年会費　3,000円（本年度より値下げしました．）

（注）普通会員（大学院）の方は，振替用紙の通信欄に，指導教員の署名が必要です．

3．シニア会員　　永年会費　　30,000円

4．準会員　　2017年度年会費　2,000円

（注）高等学校等の教育機関の教員および大学学部生の方．学部生は振替用紙の通信欄に，指導教員の署名が必要です．

●郵便振替の場合

口座名義　日本遺伝学会

口座番号　00110-7-183404

●他の金融機関（ATM）から，ゆうちょ銀行の口座へ振込・振替をされる場合

***** 他金融機関からの振替口座番号 *****

・店　　名　　〇一九（ゼロイチキュウ）

・預金種目　　当座預金

・口座番号　　0183404

＊お手数料に420円かかります．

## お知らせ

平成29年度若手科学者賞を
大學　保一会員，藤本　明洋会員が
受賞されました．

大學　保一会員

藤本　明洋会員

# 日本遺伝学会第89回大会へのお誘い

日本遺伝学会第89回大会　大会委員長　村田　　稔
（岡山大学）

日本遺伝学会第89回大会を，2017年（平成29年）９月13日（水）から15日（金）まで，岡山大学津島キャンパスにおいて開催することになりました．現在，学会本部の支援を受けて，大会開催に向けて準備を進めております．

これまでの大会と同様，本大会でも一般講演は口頭発表を主といたしますが，小林武彦新会長のご提案により，大学院生を対象としたポスター発表も行うことになりました．また，シンポジウム及びワークショップを開催する予定です．

遺伝学に対する市民の理解を深めていただくため，大会翌日の９月16日（土）に岡山大学津島キャンパス内の50周年記念ホールにおいて，市民公開講座「変わりものを探そう―多様性は生物の基本―」を開催いたします．今回は，遺伝学の基礎となっている生物の変異を取り挙げ，身近に様々な変わりものが存在し，それらの中に遺伝するものがあることを学んでいただこうと思います．そのため，多くの変異体が分離されているモデル生物を例に，それらの多様性と遺伝的な原因を，専門家の方々に平易に解説していただくことにしました．一般市民や大学生，高校生を対象としておりますが，中学生やそれよりも若い方々にも，遺伝学のおもしろさや人間社会における重要性を感じていただけると思っております．異なる専門分野に広く関わる講演会ですので，第89回大会に参加されました会員の皆様にも，是非多数ご参加いただけることを願っております．

前回の岡山大会は10年前（2007年）に，今回と同様津島キャンパスで行われましたが，その後キャンパスは大きく様変わりし，オープンスペースも多くなりました．津島キャンパスはJR岡山駅から北に約 2.5 km の市街地に位置し，東京ドーム約13個分の敷地内に９つの学部，関連研究施設などが整備されています．JR岡山駅西口からはバスで15分程ですが，徒歩でも30分程です．駅周辺には多くの宿泊施設が点在しておりますので，不便をおかけすることはないかと存じますが，早めのご予約をお願いいたします．９月は，「くだもの大国」岡山を満喫していただける時期です．白桃や葡萄（マスカットなど）をご賞味下さい．また，瀬戸内海で獲れた新鮮な海の幸や地酒をお楽しみください．学会員の皆様に多数おいでいただき，盛大な大会となりますことを切に願っております．

# 日本遺伝学会第89回大会ご案内

先にご案内しましたように，本年度の大会は岡山大学津島キャンパスを会場に開催されます．

会　　場：岡山大学津島キャンパス（〒700-8530　岡山市北区津島中１丁目１番１号）
会　　期：2017年９月13日（水），14日（木），15日（金）
企　　画（予定）：一般講演（口頭発表）　９月13日（水）午前，
　　14日（木）午前，
　　15日（金）午前
　　ポスター発表（学部生・博士前期課程大学院生を対象）（日程未定）
　　ワークショップ　９月13日（水）午後，14日（木）午後
　　プレナリーワークショップ　９月14日（木）午後
　　シンポジウム　９月15日（金）午後
　　総会・受賞講演会等　９月14日（木）午後
　　懇親会　９月14日（木）夕方
　　市民公開講座　９月16日（土）午後
申し込み：参加と講演の申し込みは例年通りホームページからとします．
　　講演申し込み・要旨受付締め切り　６月30日（金）
　　事前参加の申し込み締め切り　７月14日（金）

【第89回大会参加費，懇親会費】

| | 事前登録（７月14日まで）<br>８月７日までにお振り込みください | | 当 日 登 録 | |
|---|---|---|---|---|
| | 参 加 費 | 懇親会費 | 参 加 費 | 懇親会費 |
| 一 般 会 員 | 8,000円 | 6,000円 | 9,000円 | 7,000円 |
| 学 生 会 員 | 無料 | 4,000円 | 無料 | 5,000円 |
| 一般非会員 | 10,000円 | 7,000円 | 11,000円 | 8,000円 |
| 学生非会員 | 無料<br>(予稿集は当日実費販売) | 4,000円 | 1,000円<br>(予稿集は当日実費販売) | 5,000円 |

＊事前参加申し込みの方は，添付の参加振替用紙をご利用ください．
＊大会参加費，懇親会費を郵便振込される場合は，払い込まれた方が特定できるように一人１枚ずつ別々の払込取扱票をお使いください．

★ワークショップへの応募は締め切りました．ご応募いただきありがとうございました．
詳細は随時下記大会 **HP** でご案内します．
【大会 HP】http://taikaitm.net/index.html

皆様には是非ご参加くださいますようお願い申し上げます．

日本遺伝学会第89回大会実行委員会
大会委員長　村田　稔（岡山大学）
連 絡 先：日本遺伝学会第89回大会事務局
　　E-mail: iden89@nacos.com

# 日本遺伝学会木原賞および奨励賞候補者推薦のお願い

下記の規程に添って2017年度木原賞および奨励賞候補者推薦をお願いします.

**【推薦書作成要領】**

本誌に掲載された様式に従って作成してください．なお，同様式は遺伝学会ホームページからダウンロードしていただけます．いずれも用紙はＡ４判を使用して下さい.

（木原賞）候補者の主な発表論文のリストを別紙にて作成し，うち主要な論文５編３部ずつを郵送して下さい．また，候補者推薦書ファイル，業績リストファイル，論文の PDF ファイルをメールの添付ファイルにてお送りください.

（奨励賞）１．候補者の主な発表論文のリストを別紙にて作成し，うち主要な論文２編３部ずつを郵送して下さい.

２．自薦の場合も同様式に従って作成して下さい.
（2010年から年齢制限はなくなりました）

また，候補者推薦書ファイル，業績リストファイル，論文の PDF ファイルをメールの添付ファイルにてお送りください.

**【提出期限】**

**2017年５月19日（金）必着**

提出先：〒411-8540　三島市谷田1111　国立遺伝学研究所内
日本遺伝学会　Tel & Fax　055-981-6736
日本遺伝学会会長　小林　武彦

電子ファイル送付先：Email: japgenet@nig.ac.jp

＊なお，木原賞および奨励賞の受賞者には当学会誌 Genes & Genetic Systems に英文総説の執筆と，その年に開催されます大会で受賞記念講演をお願いしております.

## 日本遺伝学会学会賞および奨励賞に関する規程（抜すい）

（目的）
遺伝学の進歩を促し，すぐれた研究業績を一般に知らせるために学会賞および奨励賞を設定する.

（賞の種類）
1. 日本遺伝学会木原賞
遺伝学の分野ですぐれた業績をあげた者（原則として会員）に授与する.
2. 日本遺伝学会奨励賞
遺伝学の特定の分野ですぐれた研究を活発に行い，将来の成果が期待される会員に授与する.

（賞の内容）
1. 日本遺伝学会木原賞
賞状，メダルおよび副賞としての賞金からなる.
2. 日本遺伝学会奨励賞
賞状および副賞としての賞金からなる.

（賞の選考）
賞の選考は下記に定められた選考委員会と選考方法によって行う.
1. 選考委員会
全会員を対象として評議員会により選出された若干名と，これに会長が加わり，選考委員会を構成する．会長以外の選考委員は任期を２年とし，連続して２期（４年）をこえ選考委員としてとどまることはできない.
選考委員会の委員長は会長がつとめるものとする.
2. 選考方法
会員から推薦された候補者について選考委員が慎重に審査を行い，受賞者を決定した上で評議員会の承認を得るものとする．日本遺伝学会木原賞受賞者については原則として各年１名とするが，適当な候補者がない場合は授賞は行わないものとする.
日本遺伝学会奨励賞については各年２名以内を選ぶものとする.

附　則
昭和57年11月20日　日本遺伝学会総会承認
昭和60年10月14日　一部改正
昭和63年２月６日　一部改正
1989年10月14日　一部改正　日本遺伝学会総会承認
1992年10月23日　一部改正
2005年４月４日　一部改正
2009年９月17日　一部改正　日本遺伝学会総会承認

# 2017年度日本遺伝学会木原賞候補者推薦書

2017年　　月　　日

| 推　　薦　　者 | |
|---|---|
| （ふりがな）<br>氏　　名 | 印 |
| 職　　名 | |
| 連　絡　先 | 〒<br>TEL:　　FAX:<br>E-mail: |

| 受　賞　候　補　者 | |
|---|---|
| （ふりがな）<br>氏　　名 | （西暦）　　年　　月　　日生 |
| 職　　名 | |
| 連　絡　先 | 〒<br>TEL:　　FAX:<br>E-mail: |

【略　　歴】

| 受賞候補者（　　）氏の推薦理由等 | |
|---|---|
| 研究題目 | （和文） |
| | （英文） |

【推薦理由】

（紙面不足の場合は別紙［A4 判］に記載し，添付して下さい）

注：候補者の主な発表論文のリストを別紙（紙は A4 判を使用）に掲載し，うち主要な論文 5 編 3 部ずつを郵送して下さい．ここに示した推薦書に必要な情報が記載してあれば，用紙（A4 判）は別紙でも結構です．

提出期限：　**2017 年 5 月 19 日（金）必着**

提 出 先：　〒411-8540　静岡県三島市谷田1111　国立遺伝学研究所内　日本遺伝学会
TEL & FAX　055-981-6736

# 2017年度日本遺伝学会奨励賞候補者推薦書

2017年　　月　　日

| 推　　薦　　者　（自薦の場合，職名，連絡先は不要） | |
|---|---|
| （ふりがな）<br>氏　　名 | 印 |
| 職　　名 | |
| 連　絡　先 | 〒<br>TEL:　　FAX:<br>E-mail: |

| 受　賞　候　補　者 | |
|---|---|
| （ふりがな）<br>氏　　名 | （西暦）　　年　　月　　日生 |
| 職　　名 | |
| 連　絡　先 | 〒<br>TEL:　　FAX:<br>E-mail: |
| 【略　　歴】 | |
| 【遺伝学会における活動歴】 | |

| 受賞候補者（　　）氏の推薦理由等 | |
|---|---|
| 研究題目 | （和文） |
| | （英文） |
| 【推薦理由】<br><br>（紙面不足の場合は別紙［A4 判］に記載し，添付して下さい） | |

注：(1) 候補者の主な発表論文のリストを別紙（紙は A4 判を使用）に掲載し，うち主要な論文 2 編 3 部ずつを郵送して下さい．ここに示した推薦書に必要な情報が記載してあれば，用紙（A4 判）は別紙でも結構です．

(2) 自薦の場合もこの用紙を使ってください．

提出期限：　**2017 年 5 月 19 日（金）必着**

提 出 先：　〒411-8540　静岡県三島市谷田1111　国立遺伝学研究所内　日本遺伝学会
TEL & FAX　055-981-6736

# 2017年度日本遺伝学会第１回幹事会・評議員会議事録

日　時：2017年３月31日（金）（幹 事 会）11時00分～13時30分
（評議員会）13時40分～15時40分
場　所：品川インターシティホール＆貸会議室　幹事会（会議室６）：評議員会（会議室３）
出席者：（会　　長）小林
（幹　　事）野々村，岩崎，菱田，真木，中別府，桝屋，杉本，一柳，関根，那須田，池村，平田，沖，村田（第89回大会委員長）
（評 議 員）荒木，深川，権藤，印南，片山，北野，仁木，伊藤，長田，春田，牧野，澤村，五條堀，粟崎，鈴木，佐渡，菅澤，阿保，長岐，大野，佐瀬（順不同，敬称略）
（事 務 局）鈴木

１．会長挨拶（小林）
２．幹事，評議員自己紹介
３．報　　告

3.1　会長（小林）

会長就任にあたり，今期の主な取り組みについての説明がなされた．特に若手会員の減少に歯止めをかけるため，学部学生，大学院生に積極的に大会に参加してもらうように，第88回大会にてポスター発表を行うことについて報告がなされた．また，定年を迎えられたシニア会員が学会をこれからも継続していただけるように，シニア活性化担当幹事を新設し，シニアの人材活用を積極的に行うことについて報告がなされた．

次に法人化についての進捗状況の報告がなされた．内閣府にはすでに申請済みであり，次回の審議会で最終判断される見通しであると報告がなされた．現在，税制経営研究所の担当会計士が６月１日を目標に手続きを進めていることについて報告がなされた．

3.2　国内庶務幹事（野々村）

関東地区評議員の朝井計会員が東京地区に転出のため，昨年の選挙結果により五條堀淳会員に後任をお願いしたことについて報告がなされた．また，2017・2018年度の会計監査に佐藤豊会員（国立遺伝学研究所），高橋文会員（首都大学東京）が承認されたことを報告なされた．

自然史学会連合委員の交代についての説明がなされ，会長より菱田卓渉外庶務幹事が推薦され，幹事，評議員により了承された．

3.3　渉外庶務幹事報告（菱田）

生物科学学会連合活動では，昨年行われた代表選挙の結果の報告がなされた．また，2017年度生命科学系学会合同年次大会（ConBio2017）の協賛については，佐々木裕之会員および角谷徹仁会員がオーガナイザーとしてWSを開催する予定であると報告がなされた．

3.4　会計幹事報告（真木）

昨年の総会で了承された会員カテゴリーの多様化について，HP，管理システム変更の実施について報告なされた．また，学会事務室の書庫にある遺伝学雑誌にカビが繁殖したため，カビの除去を業者に依頼したことについて報告がなされた．

2016年度の収支（暫定版，会計監査未実施）についての報告がなされた．

3.5　遺伝学普及・教育担当幹事（平田，沖）

第88回大会にてiGEM学生開催のWSへの参加アンケートの結果が，平田幹事より報告なされた．また，沖幹事より第89回大会ではiGEMの学生に限定した発表ではなく，学部学生，修士大学院生によるポスター発表を企画していることについて報告がなされた．企画の詳細については，沖幹事から村田大会委員長へ別途連絡をしていただくこととした．この他に，学生の積極的な大会参加のきっかけになるように，学生会員の会費減額や無料にしてはどうかといった意見が提案された．この件については，真木会計幹事が継続検討事項として持ち帰り，幹事会，評議員会でメール審議により結論を出すことで出席者の了承がなされた．

3.6　編集幹事（岩崎）

GGSの表紙とHPのリニューアルを検討していることについての報告がなされた．また，GGS発行スケジュールの遅れについて指摘があり，発行スケジュールの遅れの一因として，英文校閲担当者による作業の遅れ（校閲が丁寧すぎる）等の説明がなされた．また，NO. 6に掲載している大会のABSTRACTの掲載見直の提案がなされ，ABSTRACTを掲載した経緯を編集長が確認して，今後掲載が必要かどうかを編集委員会にお諮りすると報告がなされた．

3.7　企画集会幹事（中別府）

昨年の11月にISEGB2016へ２名の学生を派遣したことについての報告がなされた．また，第89回大会における学会企画国際シンポジウムについて，木村亮介会員（琉球大学）に世話人をお願いし，Dr. Shuhua Xu，Dr. Kun Tangは演者，GGS EDITORへのご就任が了承済みであり，中国とインドの先生に現在交渉中であることが報告なされた．

遠藤幹事（当日は欠席のため中別府幹事が代理）より旅費支援の見直し・拡充について以下のような提案がなされた．

既存の支援制度（学生旅費，男女共同参画）に，国内外ポスドクを対象に加えた統合支援制度として，新枠は若手キャリアパスに配慮し，審査付きのTravel Awardとして，国外・国内ポスドク枠（上限各10万・７万程度）を設け，総額上限枠を引き上げる．総額は新設分を含め120万円を提案する．審査・受賞者発表の具体的仕組みは今後検討する．ただし，今回のプレナリーWS発表予定者については，今回限りの特別対応とさせていただきたい（既にベストペーパーおよびプレナリーに選ばれているので，入会を条件にすれば問題はないと思われる）．この件についてはまだ十分に議論する必要があるため，別途，ご意見をメールで学会にお送りいただき，幹事会，評議員会のメール審議にて決めることで了承された．

3.8　第89回大会（岡山）の準備状況報告（村田大会委員長）

大会の運営を中西印刷に依頼し，HPをたちあげ，現在WSの募集中であることが報告なされた．また，日程表（案）についての説明がなされ，今年は大会２日目にポスター発表を企画している事が報告なされた．

3.9　将来計画幹事（桝屋，杉本）

昨年の12月21日に文科省による学術用語の標準化に係る打ち合わせに池内会員が出席され，今後の文科省側の対応としては，これまでの「文部省・学術用語集」を廃止することになるかどうか，用語集の問題はそれぞれの学会に委ねるかどうかを，会議で出された現状とコメントを基にして，これから検討したいという考えであることについて報告がなされた．

遺伝学用語集編集委員会活動の進捗状況として，６月出版に向け最終レイアウトの校正を４月中に終了するように現在作業を進めていることについて報告がなされた．

また，冊子体の体裁についての報告がなされた．

3.10　男女共同参画推進担当幹事（杉本代理）

第88回大会におけるランチョンセミナー開催の報告がなされた．議論も盛り上がり盛況のうちに終えられた．

第14期男女共同参画学協会連絡回第３回運営委員会出席に大坪，篠原両会員が出席し，大規模アンケート実施とその解析に向けたワーキンググループが立ち上げられることが承認されたとの報告がなされた．男女共同参画学協会連絡回の第15期分担金として学会より5,000円の支払いが承認された．

男女共同参画学協会大規模アンケートを実施したことが報告された．

学会より関西科学塾へ寄付金の支援を行ったとの報告がなされた．

3.11　広報担当幹事（那須田）

富澤純一名誉会員の追悼記事のご執筆を小川英行先生依頼したことについて報告がなされた．

3.12　シニア活性化担当幹事（池村）

シニアアカデミー「日々思考実践院」の設立に係わる提案と活動の基本方針と内容について，また今後HPを立ち上げる予定であると報告がなされた．

以上

# 第1回 Genes & Genetic Systems（GGS）のホームページ（HP）改定検討ワーキング（WG）議事概要

開催日時：2017年3月31日（金）15時50分～17時30分
会議場所：品川インターシティホール＆貸会議室（会議室6）
出 席 者：小林武彦（会長），野々村賢一（庶務幹事），岩崎博史（WG主査），那須田周平（広報HP編集幹事），関根靖彦（広報HP編集幹事），中別府雄作，高橋　亮，平野博之，北野　潤，一柳健司，田中若菜（敬称略）

議事要旨

1．岩崎WG主査から，本WG委員構成員の説明があった．すなわち，これまでGGS改定準備に関わってこられた方々，遺伝学会会長，庶務幹事，広報HP編集幹事，今回，新しく参画された若手の有志の数名である．
2．つぎに，本WG招集の経緯説明があった．すなわち，1）数年前からGGSのHP，特にトップページの改定の要望があり，一旦準備をしていたが中断状態になったこと，2）遺伝学会のHPについて，学生を含む若手会員などから今の時代のセンスにあったHPに改定してほしいとの要望があること，3）GGS冊子体の表紙が10年以上同じデザインなので，リニューアルすべきとの要望があることなど，が説明された．また，現在日本遺伝学会は科研費（研究成果公開促進費）を取得しており，これが平成29年度で終了するので，今後，成果公開に関わるインフラ整備を行うとしたらH29年度までしか確定した予算がないことが説明された．
3．平野委員から，これまでのGGSのHP改定WGの活動状況の説明があった．
4．これらの状況をふまえ，総合的に議論した結果，GGSのHPと冊子体の表紙のデザインはリンクしているので，表紙のリニューアルを同時並行的に議論することにした．ただし，今までの表紙が悪いというものではなく，長年同じものを使用してきたので，単に変化を求めるためのものであることが全員で確認された．また，同様に，遺伝学会のHPとGGSのHPは密接に関連しているので，これを機に，遺伝学会のHPについてもリニューアルを検討することとした．そのため，本GGSのHP改定検討WGは，上記の3つのリニューアル（GGS HP，GGS冊子体表紙，遺伝学会HP）を統合的に議論することとした．
5．HPのプラットホームに関して議論した結果，サーバーは，リニューアル後もこれまでと同じラフラに委託することとした．すなわち，遺伝学会，及び，GGSのHPの改定に関しては，新規にhtmlを外注し，それをラフラに管理委託するという形体とすることとした．
6．GGSの表紙は2018年の1号から新しいものを使用し，それに合わせて，GGS及び遺伝学会のHPも新しいものを使用することとした．
7．今後は，3つのリニューアル（GGS HP，GGS冊子体表紙，遺伝学会HP）を行う見積もりをとり，それを元に具体的に議論を進めていくこととした．
8．今後のWG活動は，主にメール審議とし，9月の大会時もしくはその前日に第2回WG会議を開催することとした．

以上（文責　岩崎博史）

## ◆会　員　異　動◆

### 新入会・再入会

| | | |
|---|---|---|
| 中　井　亮　佑 | 630-0192 | 奈良県生駒市高山8916-5<br>奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科 |

### 退　　会

松本光司，春島嘉章，津久井隆裕，金子嘉信，五十嵐諒，冨田隆史，岡村大治，佐伯希美，横井貴人，伊沢朋子，寺澤匡博，上野通宗，吉田早希，菊池　裕，佐藤貴皓，清水葉子，川本咲江，原　弘志，大賀俊範，国場　訓，沓掛和弘，野島　博，佐藤　睦，塩入拓馬

## 寄贈図書・交換図書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科学 | Vol. 87 | No. 1-4 | (2017) |
| 統計数理 | Vol. 64 | No. 2 | (2016) |
| Acta zoologica cracoviensia | Vol. 59 | No. 1-2 | (2016) |
| JOURNAL OF CHINA-JAPAN FRENDSHIP HOSPITAL | Vol. 30 | No. 1-6 | (2016) |
| CHINESE QINGHAI JOURNAL OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES | Vol. 46 | No. 6 | (2016) |
| CHINESE QINGHAI JOURNAL OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES | Vol. 47 | No. 1 | (2017) |
| ChineseJournal of nature | Vol. 38 | No. 4-6 | (2016) |
| ChineseJournal of APPLIED & ENVIRONMENTAL BIOLOGY | Vol. 22 | No. 5-6 | (2016) |
| ChineseJournal of APPLIED & ENVIRONMENTAL BIOLOGY | Vol. 23 | No. 1 | (2017) |
| Advances in Manufacturing | Vol. 4 | No. 3-4 | (2016) |
| folia biologica | Vol. 64 | No. 2-4 | (2016) |

# 日本遺伝学会会則

第１条　本会は日本遺伝学会と称する．
第２条　本会は遺伝に関する研究を奨め，その知識の普及を計ることを目的とする．
第３条　本会は事務所を静岡県三島市谷田，国立遺伝学研究所内におく．
第４条　本会に入会しようとするものは住所，氏名および職業を明記して本会事務所に申し込むこと．
第５条　本会会員は普通会員，機関会員，賛助会員および名誉会員とする．毎年普通会員は会費10,000円（ただし在学証明書またはそれに代わるものを提出したとき，あるいは定年退職して常勤職でなくなったことを申し出たときは6,000円）を，機関会員は15,000円を，賛助会員は１口（20,000円）以上を前納すること．会員で会費滞納１年におよぶものは資格を失うものとする．
第６条　本会は次の者を総会の決議により名誉会員にすることができる．
　本会に功労のあった者．外国の卓越した遺伝学者．
第７条　本会は隔月１回遺伝学雑誌を発行して会員に配布する．
第８条　本会は毎年１回大会を開く．大会は総会と講演会とに分け，総会では会務の報告，規則の改正，役員の選挙および他の議事を行い講演会では普通会員および名誉会員の研究発表をする．
　大会に関する世話は大会委員若干名によって行い，大会委員長は会長が委嘱する．大会は臨時に開くことがある．
第９条　本会は各地に談話会をおくことができる．
第10条　本会は会長１名，幹事若干名，会計監査２名の役員，および評議員若干名をおく．
1）会長は本会を代表し，会務を統轄する．
2）会長は，評議員が全普通会員の中から選出した複数の候補者から普通会員による直接選挙によって選出される．
3）評議員は，普通会員による直接選挙で選出される．
4）幹事は，会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される．
5）会計監査は，会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される．
6）会長は評議員会を招集し，その議長を務める．幹事は評議員会に出席するものとする．
7）評議員会は会員を代表して，事業計画，経費の収支，予算・決算，学会誌の発行，大会の開催，その他重要事項について審議し，出席評議員の過半数をもって議決する．
8）会長ならびに幹事により幹事会を構成し，会長がこれを代表する．
9）幹事会は，学会の関連事項を論議し評議員会に諮ると共に，会務を執行する．
10）会計監査は，学会の会計を監査する．
第11条　役員および評議員の任期は２カ年とする．会長および評議員は連続三選はできない．
第12条　本会の事務年度は暦年による．
付則　平成７年10月13日に第５条を改正し，平成８年１月１日から施行する．
付則　平成21年９月17日に第５条を改正し，平成22年１月１日から施行する．

**Genes & Genetic Systems　第91巻６号（付録）**
2017年４月28日発行　非売品
発行者　小林　武彦
印刷所　レタープレス株式会社
Letterpress Co., Ltd. Japan
〒739-1752　広島市安佐北区上深川町809-5番地
電話　082（844）7500
FAX　082（844）7800

発行所　日本遺伝学会
Genetics Society of Japan
静岡県三島市谷田1111
国立遺伝学研究所内

学会事務取扱
〒411-8540　静岡県三島市谷田・国立遺伝学研究所内
日本遺伝学会
http://gsj3.jp
（電話・FAX　055-981-6736
振替口座・00110-7-183404
加入者名・日本遺伝学会）

国内庶務，渉外庶務，会計，企画・集会，将来計画，編集などに関する事務上のお問い合わせは，各担当幹事あてご連絡下さい．
乱丁，落丁はお取替えします．

この冊子に記載してある個人情報については，慎重に取り扱っていただきますようお願いいたします．